



日语阅读

主编 武少文 李秀艳 霍国宏



天津大学出版社
TIANJIN UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语阅读/武少文, 李秀艳, 霍国宏主编. —天津: 天津大学出版社, 2009.8

ISBN 978-7-5618-3144-1

I.日… II.①武… ②李… ③霍… III.日语—阅读教学 IV.H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 151833 号

出版发行 天津大学出版社
出 版 人 杨欢
地 址 天津市卫津路 92 号天津大学内(邮编:300072)
电 话 发行部:022-27403647 邮购部:022-27402742
网 址 www.tjup.com
印 刷 昌黎太阳红彩色印刷有限责任公司
经 销 全国各地新华书店
开 本 185mm×260mm
印 张 22.5
字 数 646 千
版 次 2009 年 8 月第 1 版
印 次 2009 年 8 月第 1 次
印 数 1—2 000
定 价 38.00 元

凡购本书, 如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 烦请向我社发行部门联系调换
版权所有 侵权必究

本书编委会

主 编	武少文	李秀艳	霍国宏
编 者	(按姓氏笔画排列)		
	冯子阳	李秀艳	伴久子
	张 峦	细井澄子	武少文
	武 菲	胡和平	窦广乐
	霍国宏		

前 言

在高等职业教育领域,课程开发已成为许多专家学者关注的焦点问题。近年来,一些院校为了突出高职教育的办学特色,强化学生职业技术能力的培养目标,把专业实训课程的开发作为高职教学改革的重大课题,开展了一系列的理论探索和教学实践研究活动。《日语阅读》就是天津滨海职业学院国际语言学院日语专业的教师在实训课程开发实践中取得的一项成果。

《日语阅读》共分三编十章,第一编是语言文字的阅读训练,第二编是篇章结构的阅读训练,第三编是文章体裁的阅读训练。全书按照由简及繁、由单一到综合的体例编排。本书的编写体例及大纲由武少文制定。中文部分主要由武菲负责编写。日文及其相关部分的编写分工是:第一章、第四章、第五章、第八章由霍国宏编写;第二章中的第一节、第三节和第三章中的第一节、第二节、第三节、第四节以及第六章、第九章由李秀艳编写;第二章中的第二节和第七章由窦广乐编写;第三章中的第五节和第十章由胡和平、张峦编写。此外,冯子阳参加了初稿的编写及排版工作。日籍教师细井澄子、伴久子负责日文校审工作。全书最后由武少文统一编审改定。

在历时五年的编写中,编撰人员收集了国内外大量的相关资料,进行了多次调整修改,尤其是在习题的设置上,中外教师围绕日语阅读能力的训练和提高,共同研讨,交流经验。应该说本教程对建立日语实训教学的科学体系能够起到奠基的作用,对日语专业学生的能力培养也会产生积极的效果。我们期待该教材问世后,能够听到来自各方面专家学者的宝贵意见。

2009年3月16日

目 录

第一编

第一章 文字.....	2
第一节 日语汉字的读音.....	2
第二节 中日汉字字形和字义的差异.....	11
文字综合训练.....	17
第二章 词汇.....	23
第一节 词汇的分类.....	23
第二节 有变化的词汇.....	26
第三节 无变化的词汇.....	48
第三章 句子.....	68
第一节 句子结构.....	68
第二节 句子成分——主题、主语.....	74
第三节 句子成分——谓语、宾语.....	81
第四节 句子成分——连用修饰语、连体修饰语.....	87
第五节 句子的类型.....	93

第二编

第四章 段落.....	124
第一节 段落的概念及段落设置的一般规律.....	124
第二节 理解段落的内容.....	134
第五章 层次.....	163
第一节 记叙文的层次.....	163
第二节 说明文的层次.....	184
第三节 议论文的层次.....	199
第六章 中心思想.....	214
第一节 记叙文的中心思想.....	214
第二节 说明文的中心思想.....	237
第三节 议论文的中心思想.....	242

第四节 应用文的中心思想.....	253
-------------------	-----

第三编

第七章 记叙文的阅读.....	260
记叙文的概念和特点.....	260
记叙文阅读综合训练.....	264
第八章 说明文的阅读.....	287
说明文的概念和特点.....	287
说明文阅读综合训练.....	292
第九章 议论文的阅读.....	315
议论文的概念和特点.....	315
议论文阅读综合训练.....	320
第十章 应用文的阅读.....	339
应用文的概念和特点.....	339
应用文阅读综合训练.....	346

第一编

第一章 文 字

一般来说, 阅读一篇文章, 都是先着眼于语言文字, 然后在此基础上, 进一步理解作者所表达的思想内容。日语中使用的文字有“ひらがな(平假名)”、“かたかな(片假名)”和“漢字(汉字)”三种。平假名可以书写所有的日语发音, 主要用于表现具有语法功能的词, 它是模仿汉字的草书写成的。片假名用于书写外来词、拟声词、拟态词和一部分动、植物的名称, 它是模仿汉字的楷书, 取其偏旁或冠盖而写成的。汉字用于表示实物的名称和动作。除了平假名、片假名和汉字以外, 日本现在还使用罗马字, 但多用于招牌或广告, 一般文章中较少使用。

日语文章通常情况下主要是汉字和假名的混写, 被称为“汉字假名混写文(漢字かな交じり文)”。汉字, 不仅是日本文字的母体, 也是日本文字的主要组成部分。从实用范围考察, 汉字在日本文字中也占据着主导地位。本章主要从汉字的读音、字形、字义三方面进行讲解与训练。

训练目的和要求

目的: 通过对日语汉字音、形、义的学习与训练, 能够准确理解汉字在文章中的意义。

要求: ①了解日语汉字读音的一般规律, 掌握日语汉字的“音读”和“训读”。

②了解中日汉字字形和字义的差异, 准确掌握日语汉字的字形和字义。

第一节 日语汉字的读音

一、日语汉字的读音

日语中汉字的读音主要有音读和训读两种读法。虽然这是两种完全不同的读音方法, 但是大都沿袭了汉字的本来字义。另外, 还有一种“^{あてじ}当字”, 形式上利用了汉字的音读或训读, 而内容上却与汉字的本来字义无关。此外, 从单词的角度分析, 使用两个以上汉字的单词, 大部分都单纯地利用音读或训读, 也有一些单词利用音读和训读结合的读音方法。

(一) 音读

1. 音读的概念

在日语汉字读音的系统中, 模仿中国古代汉字本来读音的叫「^{かんじ}音読」(也称“字音”、“汉字音”)。例如:

入学 (にゅうがく) 人民 (じんみん) 世間 (せけん)

行動（こうどう）

茶（ちゃ）

学校（がっこう）

2.音读的种类

由于汉字和汉语传入日本的时期、途径不同，以及汉字原音在中国存在地区差异性等原因，日语汉字的音读又分成吴音、汉音、唐音三种读音。此外还有一种与汉字原音没有关系的惯用音。

（1）吴音

吴音是指六朝时期经由朝鲜传入日本的我国长江下游即江南一带的方音，多用于佛教用语、古代事物、官职名称以及数字等方面。例如：

十（じゅう）	百（ひゃく）	千（せん）	万（まん）
男女（なんによ）	兄弟（きょうだい）	上下（じょうげ）	大工（だいく）
正体（しょうたい）			

（2）汉音

汉音是指隋唐时期由日本遣唐使和留学生传入日本的我国长安、洛阳一带的北方音，现在日语中的大部分汉字音读都是汉音。例如：

男女（だんじょ）	明白（めいはく）	末期（まつき）
名誉（めいよ）	行動（こうどう）	成功（せいこう）
金（きん）	就職（しゅうしょく）	期間（きかん）

（3）唐音

唐音是中国宋代以后传入日本的，主要受中国南方地区的发音影响，又称为“宋音”、“唐宋音”。唐音在汉字音读中占的比例不大，主要是禅宗方面的用语以及表示部分事物、器具等的名称。例如：

椅子（いす）	和尚（おしょう）	瓶（びん）	暖簾（のれん）
提灯（ちょうちん）	扇子（せんす）	甲板（かんぱん）	

日语中，同一个汉字可能兼有吴音、汉音、唐音三种读法，如：明（みょう、めい、みん）。

（4）惯用音

惯用音又叫做「百姓読（ひゃくしょうよみ）」。惯用音与汉字原音没有关系，主要是根据汉字的偏旁、字形等联想或类推而产生的汉字读音方法。例如：

物：ぶつ・もち→もつ（貨物：かもつ）
 立：りゅう→りつ（設立：せつりつ）
 消耗：しょうこう→しょうもう
 早急：そうきゅう→さっきゅう

（二）训读**1.训读的概念**

取汉字的字义而按日语的固有读法发音的叫做「^{くん}読」（也称「^わ和^{くん}訓」、「^じ字^{くん}訓」）。例如：

兄（あに）	男（おとこ）	建物（たてもの）
-------	--------	----------

時雨（しぐれ） 紅葉（もみじ）

2. 训读的种类

(1) 正训

正训是针对每一个汉字的本来字义所做的相应的训读，也是最普通的训读。例如：

塩（しお） 飯（めし） 粉（こな） 梅（うめ）
 孫（まご） 塩水（しおみず） 粉薬（こなぐすり） 入り口（いりぐち）

(2) 熟字训

汉字的音读和训读一般都是以一个字为单位的，但有时训读也有以两个或两个以上汉字为单位的。这种以两个或两个以上汉字组成的熟字为单位的训读叫做「熟字訓」。也就是说，这种训读一般难以按单个的汉字解释读音。例如：

小豆 五月雨 時雨 竹刀 太刀
 足袋 二十 吹雪 土産

(三) 前音后训和前训后音

作为汉字的读音只有音读和训读两种。由两个以上的汉字组成的词语，通常情况下只用音读或只用训读。但是，还有一类词语是把音读和训读结合在一起组成一个单词的。这就是所谓的“前音后训”和“前训后音”。

1. 音读+音读

太陽（たいよう） 人民（じんみん）
 両親（りょうしん） 病院（びょういん）

2. 训读+训读

書留（かきとめ） 場合（ばあい）
 目上（めうえ） 上目（うわめ）

3. 前音后训

前音后训指词语中前一个汉字用音读、后一个汉字用训读的读音方法，日语叫做「重箱読み」。「重箱」意为盛放食品用的多层方木盒，「重」为音读，「箱」为训读，读做「じゅうばこ」，即这个词前后汉字的读法为“音+训”。为了便于记忆，便将“音+训”的读法叫做「重箱読み」。例如：

気持ち（きもち） 茶色（ちゃいろ） 毎朝（まいあさ） 胃袋（いぶくろ）
 具合（ぐあい） 本棚（ほんだな） 蜂蜜（はちみつ） 電話口（でんわぐち）

4. 前训后音

前训后音指词语中前一个汉字用训读，后一个汉字用音读的读音方法，日语叫做「湯桶読み」。「湯桶」为盛开水用的一种涂漆木桶，读做「ゆとう」，即读音为前训后音。同样，为了便于记忆，便将“训+音”的读法叫做「湯桶読み」。例如：

船賃（ふなちん） 雨具（あまぐ） 消印（けしいん） 荷物（にもつ）
 車座（くるまざ） 見本（みほん） 親孝行（おやこうこう） 夕刊（ゆうかん）

(四) 当字

不考虑汉字的字义，仅借用其读音（包括音读、训读及类似音）记述一个和语词，这种汉字叫做「^{あて}字」，即假借字。例如：

兎角（とかく）	天麩羅（てんぷら）	素敵（すてき）
滅茶苦茶（めちゃくちゃ）	丁度（ちょうど）	
		（以上为借音）
出鱈目（でたらめ）	目出度（めでた）い	矢張（やは）り
矢鱈（やたら）	寝間着（ねまき）	
		（以上为借训）
盆槍（ぼんやり）	御目出（おめで）とう	御座居（ござい）ます
		（以上为音训兼借）

二、日语汉字读音训练指导

日语汉字的读音具有多样性，有些词语虽用同样的汉字书写，但是用不同的读音去读，就可以表示不同的意思。在阅读训练中，要重点记忆一些文章中出现的常用字的音读和训读。

（一）汉字读音应注意的几个问题

1. 只有音读或只有训读的汉字

日语中汉字有音读和训读两种读法，但并非每个汉字都有音读和训读两种读法。确切地说，关于汉字的音读、训读有以下三种情况。

①大部分汉字既有音读又有训读。如：

山（さん、やま）	川（せん、かわ）
清（せい、きよい）	静（せい、しずか）

②有的汉字只有音读而无训读。如：

胃（い）	磁（じ）	畜（ちく）
愛（あい）	儒（じゅ）	医（い）

③有的汉字只有训读而无音读。如：

扱（あつかい）	芋（いも）	娘（むすめ）
姫（ひめ）	皿（さら）	

2. 汉字读音的多样性

（1）同字异音

同字异音指一个汉字具有两种以上的音读。如：

①^{はし}幅が広い。

^{はし}合制で働く。

②秘密を^{ひそ}暴露する。

乱^{めう}暴に扉を閉める。

③同窓会の^{はっ}發起人と会の運営について交渉する。

アテネはオリンピック^{はっ}発祥の地だ。

④夫人同^{はん}輩で海外に赴任する。

ピアノの^{はん}伴奏に合わせて歌おう。

(2) 同字异训

同字异训指一个汉字有不同的训读。如：

明：あかり・あかるい・あかるむ・あからむ・あける・あく・あくる・あかす

下：^{した}準備。法の^{もと}上の平等。物価が^さ下がる。

結：契約を^{むす}結ぶ。日本髪を^{ゆい}結い上げた人形。

干：のどが渴いたので、水を飲み^ほ干す。あじの^ひ主物。

強：^{つよ}強い意志で新分野を開拓する。無理を^{つよ}強いる。

(3) 同音异字

汉字字音相同而意义不同，这种情况叫做「同音異字」。如「カイ」（会、開、海など）或「コウ」（口、工、公、航など）等，虽然读音相同，但意义却不同。由这些汉字所构成的「熟語」，如：「公開—航海」（コウカイ）等，这样的词语，叫做「同音異義語」。如：

カン：さまざまな分野に^{かん}関心を示す。

彼の善行にはいつも^{かん}感心する。

値下げして客の^{かん}歡心を買う。

タイ：世界の^{たいせい}太勢に通じる。

留学生を受け入れる^{たいせい}態勢を整える。

平均台の上で^{たいせい}体勢を保つのは難しい。

同音异字的汉字，在阅读的时候，一般还是比较容易区别的，一方面是因为汉字本身有字义的差异，另一方面是因为大多数音读汉字要用两个字组成词；但也有一些字义接近的同音字以及词义接近的同音词值得注意。如：

器・器械・電熱器・消火器

(4) 同训异字

同训异字指不同的汉字读作同样的训读。如：

とる：取る、採る、撮る、捕る、獲る……

はかる：図る、計る、測る、量る……

うつす：机を教室のすみに^{うつ}移す。校舎を背景に写真を^{うつ}写す。

やぶれる：一位になるという夢が^{やぶ}破れる。延長戦でおしくも^{やぶ}敗れる。

阅读时，发音相同而意义完全不同的词语，通过汉字的区别使用即可一目了然。例如：

あつい：厚い、暑い

すみ：墨、炭

かう：買う、飼う

はな：花、鼻

きる：切る、着る

め：目、芽

但也有一些词语在区别使用汉字时有一定的困难，这就要求在阅读时加以注意。如：

かたい	{	硬い……硬い金属
		堅い……堅い商売
		固い……ネクタイを固く締める
こえる	{	超える……入場者が二千人を超えた
		越える……鉄道の線路を越える
市場	{	しじょう……市場調査・市場の拡大
		いちば……魚市場・海岸通りの市場
大家	{	たいか……英文学の大家・絵の大家
		おおや……大家さんに部屋代を払う

(二) 汉字读音的一般规律

1. 汉字的音读和训读的稳定性

虽然日语汉字的读音具有多样性，但也并非无规律可循。翻阅一下『常用汉字表』，可以明显看出：日语汉字的音读和训读是相当稳定的。由于汉字的读音稳定，构成词时，词的读音也是稳定的。

例如汉字「生」字，它的音读为「せい」，所以它所构成的词「学生」、「先生」、「生活」、「生物学」等，「生」字都读作「せい」。音读是如此，训读也是如此。例如「手」字训读为「て」，于是它构成大量训读词，如「手痛い」、「手利き」、「手提げ」、「手塩」等，「手」字都训读为「て」。

2. 和语词训读，汉语词音读

和语词日语中称为「和語」，指的是日语固有的词汇；汉语词在日语中叫做「漢語」，也叫做「字音語」，指的是来源于汉语的词（注：关于「和語」和「漢語」在本书的第二章有详细讲解，这里不作赘述）。就大体而论，音读和训读的一般规律是和语词训读，汉语词音读。例如：

山（やま）	海（うみ）	馬（うま）	梅（うめ）
銭（ぜに）	言い合い	言い掛かり	読み始める

这些和语词，均是采用训读。再如下面这些汉语词，则采用音读。

愛（あい）	会（かい）	瓶（びん）	文章（ぶんしょう）
人間（にんげん）	返事（へんじ）	大根（だいこん）	家内（かない）

3. 「国字」只有训读，无音读

这里的「国字」是指日本人依照汉字而创造的新字（即汉字中原来没有的字），又称为「和製漢字」。「国字」早在平安时代就已经出现，主要是因为日语中的某些词语找不到适当的汉字来表达，因此日本人运用汉字造字法创造了一部分汉字。例如：

凪（なぐ）：由「風」和「止」二字组成，意为“风平浪静”。

峠（とうげ）：由「山」和「上」、「下」三字组成，意为“山顶”、“山岭”。

辻（つじ）：由「十」和「辶」二字组成，意为“十字路口”。

働く (はたらく): 由「人」和「動」二字组成, 意为“工作”、“劳动”。

畑 (はたけ): 由「火」和「田」二字组成, 意为“旱田”。

養 (しつけ): 由「身」和「美」二字组成, 意为“教育”。

这些「国字」基本是利用会意造字法创造的。由于这些字本来是用来表示和语词汇的, 所以都采用训读, 只有极少数的字在使用过程中产生了音读, 如「働 (どう)」等。

以上只是日语汉字读音的一般规律, 任何规律都是概括绝大多数而允许有例外存在的, 属于例外的那些词, 需要在阅读中逐渐去掌握。

日语汉字读音练习

1. 次の漢字は、呉音・漢音・唐音のいずれで読まれているか、調べてみよう。

今昔 人格 行脚 経歴 正体

2. 次の漢字は二つの音を持つ。後の語句は、それぞれどちらで読んだらいいだろうか。

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 音 (オン、イン) | 音楽会。福音 |
| (2) 仮 (カ、ケ) | 仮眠をとる。仮病を使う。 |
| (3) 夏 (カ、グ) | 初夏の候。夏至が近づく。 |
| (4) 外 (ガイ、ゲ) | 外科医。欄外に記す。 |
| (5) 客 (キャク、カク) | 旅客機。乗客。 |
| (6) 強 (キョウ、ゴウ) | 強弱。強情。 |
| (7) 児 (ジ、ニ) | 児童書。小児科にかかる。 |
| (8) 宗 (シュウ、ソウ) | 宗匠。宗教。 |
| (9) 静 (セイ、ジョウ) | 鎮静。静脈。 |
| (10) 発 (ハツ、ホツ) | 発起人。発祥の地。 |

3. 次に挙げた漢字には、それぞれ幾通りもの音訓がある。下に掲げた言葉の読み方を調べてみよう。

- | | | | |
|-------|------|---------|---------|
| (1) 貴 | ①貴重品 | ②貴い命 | ③命を貴ぶ |
| (2) 交 | ①交差点 | ②人が行き交う | |
| (3) 就 | ①就任 | ②役に就ける | ③帰途に就く |
| (4) 集 | ①募集 | ②寄せ集め | ③若人の集い |
| (5) 女 | ①女優 | ②天女 | ③女の子 |
| (6) 上 | ①上昇 | ②上積み | ③議題に上せる |
| (7) 和 | ①平和 | ②声を和らげる | ③心が和む |
| (8) 拾 | ①拾得 | ②金拾万円 | ③落ち葉拾い |

4. 次の _____ 線の語は、読み方を間違えやすい。() 内のどちらの読み方が正しいか。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| (1) カメラは戦渦の様子を <u>逐一</u> 写し出していた。 | (ちくいつ、ちくいち) |
| (2) 法廷で騒ぐとは <u>言語</u> 道断だ。 | (ごんご、げんご) |
| (3) <u>思惑</u> どおり、新人候補を擁立できた。 | (おもわく、しわく) |

- (4) 勲章をもらい、万感の思いがした。 (まんかん、ばんかん)
 (5) 士気を鼓舞して全国制覇をねらう。 (こぶ、こまい)
 (6) 先祖代々呉服商を業とする。 (ぎょう、わざ)

5. _____線の漢字の読みを書きなさい。

- (1) 週刊誌が発売された。
 (2) 先制点をうばった。
 (3) 酸性雨で木が枯れる。
 (4) 議案に賛成する。
 (5) みんなで銭湯へ行く。
 (6) 暴風で木がたおれた。
 (7) かれの功績をたたえる。
 (8) 金をふくむ鉱石をさがす。
 (9) 強い意志をもつ。
 (10) 正しいことが証明された。

6. 次の(1)～(8)の片仮名の部分を漢字で書こう。また、それぞれ、音・訓はどのような組み合わせかを考えよう。

- (1) 先輩の話はおもしろいが、ホンスジから外れることがある。
 (2) テンマドから蚊が入ってきてしまった。
 (3) 真珠や水晶を使った装飾品はネダンが高い。
 (4) アサバン、楽譜を見て曲を覚える。
 (5) 百戦練磨のアイボウと決勝戦に臨む。
 (6) 客にカミザを勧め、囲碁を始める。
 (7) マキジャクを使って、道幅を測定する。
 (8) ウラモンも人でいっぱいだ。

7. 次の文の _____線の部分を漢字で書くには、()の中のどちらを使うのが正しいか。また、正しくないほうは、どういう場合に使うか、調べてみよう。

同音の漢字

- (1) 治療の結果、カンチした。(完治・関知)
 (2) 収賄事件をキュウメイする。(究明・糾明)
 (3) 地域がイッタイとなった祭り。(一体・一带)
 (4) コクサイを発行する。(国際・国債)
 (5) この建物のガイカンは美しい。(概観・外観)
 (6) 問題はイガイに易しかった。(意外・以外)
 (7) この自然は人類キョウユウの財産だ。(共有・享有)
 (8) キジョウの空論にならないか心配だ。(機上・机上)
 (9) 彼に研究をイショクする。(委嘱・移殖)
 (10) フヘン性のある考えをもつ。(普遍・不偏)

同訓の漢字

- (1) 親の敵をうちとる。(打・討)
- (2) ご飯がふれたら食べよう。(群・蒸)
- (3) はさみで布地をたつ。(裁・断・絶)
- (4) 物事の本質をきワめる。(究・極)
- (5) 打球は弧を描いてとんだ。(飛・跳)
- (6) 湖畔の別荘に友人をたズねる。(訪・尋)
- (7) 風力おる季節。(香・薰)
- (8) 法をおカしてはならない。(犯・侵)
- (9) 風雪にたえた古い邸宅。(耐・堪)
- (10) 軽率な行動をかエリみる。(省・顧)

8. 次の漢字は複数の訓をもつ。_____線の語句はどう読むだろうか。

- (1) 鏡に顔を映す。
遠くの山々が夕日に映えて美しい。
- (2) 会社どうしで契約を結ぶ。
日本髪を結い上げた美しい人形。
- (3) 傷は完全に治療した。
梅雨時は食べ物が傷みやすい。
- (4) 水筒の水を飲み干した。
朝食に魚の干物を食べた。
- (5) 華麗で厳かな雰囲気の式だった。
頑固でしつめに厳しい父親だ。
- (6) 幸い、通りかかった人に助けられた。
海の幸が豊富な日本海。
- (7) 強い意志で睡魔に勝つ。
無理を強いないで自主性に任せる。
- (8) やぎの乳搾りを初めて体験した。
妹はまだ乳飲み子だ。
- (9) 偉人の生涯を著した本。
彼の跳躍力は著しく伸びた。
- (10) 感激を新たにする。
新妻と共に迎える初めての正月。

9. _____線の漢字の読みを書きなさい。

- (1) イギリスに留学する。母は今留守です。
- (2) 相手に会って謝罪する。罪を認める。
- (3) 永久に変わらないだろう。永い間忘れられていた。
会わなくなってから久しい。

- (4) 妻といっしょにでかける。わかい夫妻をはげます。
- (5) 本名を名乗る。
- (6) 経験に学ぶことはおおきい。
- (7) 昔、国語を読本と言った。
- (8) 正直に話さない。
- (9) 親の財産を引き継ぐ。
- (10) 米国の大リーガーになる。
- (11) 歴史的な合戦だった。
- (12) 祖父は健在です。
- (13) 七夕の夜は星がきれいだ。
- (14) 清水がわき出ている。
- (15) 河原で小石を拾う。
- (16) 八百屋でバナナを買う。
- (17) 食後に果物を食べる。
- (18) デパートで迷子になる。
- (19) 梅雨に入って毎日雨だ。
- (20) 色眼鏡をかけている。

第二节 中日汉字字形和字义的差异

一、中日汉字字形的差异

众所周知，日本的汉字是古代由我国传入的，以后由于两国所处的环境等有所不同，中日汉字在字义、字形方面出现了差异。就字形而言，在使用汉字的过程中，近代两国都对汉字的字形进行了简化，但由于两国简化的范围、对象及简化的方式和速度有所不同，因此使得原来字形相同的汉字出现了差异。

1. 基于各自的国情特点采取了不同的简化方式

我国的有些汉字简化了，而日本与之相对应的汉字尚未简化。如：

头—頭	惊—驚	买—買	语—語	笔—筆
叶—葉	风—風	习—習	术—術	长—長

有些汉字日本简化了，而我国与之相对应的汉字尚未简化。如（前面是日本汉字，后面是我国汉字）：

黒—黑	仏—佛	器—器	渴—渴	知—智
毒—毒	繁—繁	海—海	卓—桌	梅—梅

对同一个汉字，中日两国都作了简化，但简化的方式不同。如：